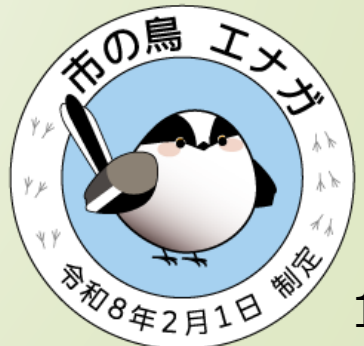


厚木市DX推進計画【概要】

令和8年7月23日（木）午後7時から午後8時まで

企画部 DX推進課

厚木市DX推進計画に係る意見交換会



目次

1. 厚木市DX推進計画策定の経緯
2. 計画の期間
3. DXとは・・・
4. 基本理念
5. 基本方針
6. 策定に当たって考慮する視点
7. 進行管理
8. 今後のスケジュール

1. 厚木市DX推進計画策定の経緯

- 令和3年3月に策定した、ICT（情報通信技術）利活用の推進に向けた情報化に関する施策の方向性を示す「厚木市情報化推進計画」の計画期間が令和8年度で終了します。
- 近年、デジタル技術は急速に進展しており、スマートフォン等の情報機器の更なる普及やAIを活用したサービスの提供など、社会生活のあらゆる場面で活用されています。
- これらの社会環境の変化に対応し、市民の皆様の利便性向上や安定的な市政運営を実現するため、DX推進に関する施策の方向性を示す「厚木市DX推進計画」を新たに策定します。

2.計画の期間

- 本計画の期間は、令和9年度から14年度までの6年間とします。
- その間、社会情勢やデジタル技術の急速な進展に柔軟に対応するため、計画実現のための具体的な施策を示すアクションプランを定めます。
- アクションプランは、前期・後期の各3年間に分け、上記の進展状況等に対応した具体的な取組を進めます。

▼DX推進計画及びアクションプランの実施期間

	2026 (令和8年度)	2027 (令和9年度)	2028 (令和10年度)	2029 (令和11年度)	2030 (令和12年度)	2031 (令和13年度)	2032 (令和14年度)
DX推進計画	前計画	厚木市DX推進計画(2027~2032)					
アクションプラン		前期アクションプラン			見直し	後期アクションプラン	

3.DXとは・・・

- DXとは「デジタルトランスフォーメーション」の略であり、ICT（情報通信技術）の浸透が人々の生活をあらゆる面でより便利・快適に変化させることです。
- 本市においては、人口減少・少子高齢化が見込まれる中、複雑化・多様化する課題に対応するため、デジタル技術を活用して住民サービスの向上や行政事務の効率化を図り、柔軟かつ持続可能な行政運営の実現を目指します。

4.基本理念

- 本計画は、第11次総合計画の目指す将来都市像である「つながる未来都市-A-T-S-U-G-I-」の実現に向け、本計画の目指す姿として「DXでつながるスマートシティあつぎ」を基本理念に掲げます。

基本理念

「DXでつながるスマートシティあつぎ」

先進デジタル技術により市民や地域、行政が一体となってつながり合う環境を創出します。これにより新しい価値を共に創造し、市民の利便性向上や地域全体の魅力向上を図るとともに、行政改革を推進し、将来にわたる安定的なサービス提供と持続可能な行政運営を目指します。

5.基本方針

- 本計画の基本理念を実現するため、4つの柱を基本方針とします。

基本方針① 市民サービスのD X

利用者目線に立ったサービス設計に基づき、いつでも・どこでも簡単に利用できるオンラインサービスや、書かない・待たない窓口サービスを拡充するなど、市民の利便性向上と負担軽減を図った行政サービスの提供を目指します。

基本方針② 地域社会のD X

デジタル技術を積極的に活用し、医療、教育、防災、交通など様々な地域課題を解決するとともに、文化や観光資源を活かしたまちの魅力や価値向上を図り、安心して快適に暮らせるまちを目指します。

5.基本方針

基本方針③ 行政事務のD X

デジタル技術を活用した業務改革により、職員の事務作業を削減し、より丁寧な対面サービスや政策立案など人にしかできない業務にシフトするとともに、職員が柔軟かつ効率的な働き方ができる環境を目指します。

基本方針④ D X 推進基盤の整備

強固かつ柔軟なデジタルインフラの整備やデータ利活用の促進、DX推進を担う人材育成などを通じて、高品質な行政サービスの提供と持続可能な行政運営の実現に向け、DX推進を下支えする基盤の整備を目指します。

6.策定に当たって考慮する視点

- 急速に変化する社会情勢や多様化する市民ニーズを的確に捉えて効果的な施策を進めるため、**5つの視点に考慮**して市民サービスの向上や行政改革の推進を行います。

1

情報格差への対応

2

行政改革の推進

3

情報セキュリティの確保

4

デジタル化の動向把握

5

デジタル人材の育成・確保

7.進行管理

➤ 管理方法

計画の進行管理はPDCAサイクルに基づき、定めた計画を実行し、その効果を評価しながら改善につなげます。

Plan：目標設定・具体的な行動計画の策定

Do：計画に基づいた実務の実行・データの収集

Check：実行結果の検証・効果の評価

Action：評価に基づく改善策の実施

➤ 進捗管理

実施事業ごとに評価指標（KPI）を設定します。社会情勢の変化等に応じて、事業内容及び指標の見直し検討を行います。

8.今後のスケジュール

計画
素案

令和8年7月23日

意見交換会実施 ⇒意見反映確認・庁内組織検討

計画
案

令和8年12月～令和9年1月頃

パブリックコメント実施 ⇒意見反映確認・庁内組織検討

計画
策定

令和9年3月

DX推進計画策定

御清聴いただき、ありがとうございました。

企画部 D X推進課

厚木市DX推進計画に係る意見交換会